

浜名湖圏域流域水循環計画（要約版）



令和7年3月

静岡県

1. 流域水循環計画とは

● 健全な水循環

水循環とは、「水が、蒸発、降下、流下又は浸透により、海域等に至る過程で、地表水又は地下水として河川の流域を中心に循環すること」をいいます。

「健全な水循環」とは、人の活動と環境保全に果たす水の機能が適切に保たれた状態でめぐり続ける水循環です。水循環を健全に保つことが、持続的な社会を築く上で極めて重要になります。

そのため、施策の効果と影響を明らかにしながら、流域に関わるさまざまな立場の人々が地域の水循環のあり方を考え、総合的かつ一体的に取り組むことが必要です。



健全な水循環の概念図

出典：内閣官房水循環政策本部事務局（2022）「令和4年度版水循環白書」

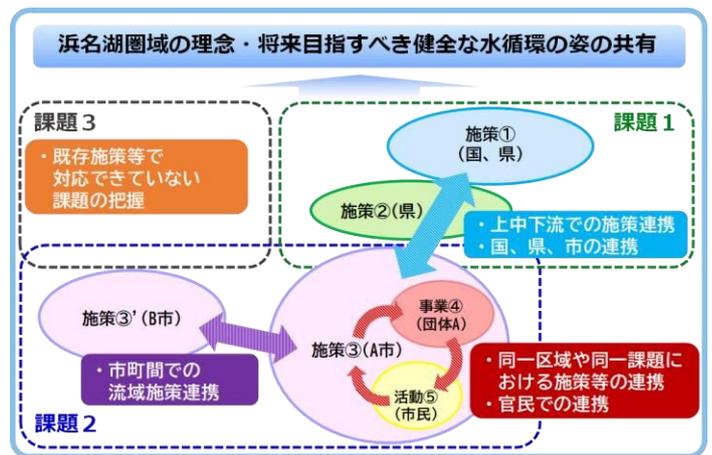
● 流域水循環計画の策定

本県では、流域治水、水利用及び流域環境の保全等に取り組むあらゆる関係者が、流域における健全な水循環の保全に関する施策の効果的な推進を図るため、必要な流域毎に流域水循環計画を定めます。

● 本計画のねらい

本計画のねらいは、浜名湖圏域の理念や将来目指すべき健全な水循環の姿を共有することです。

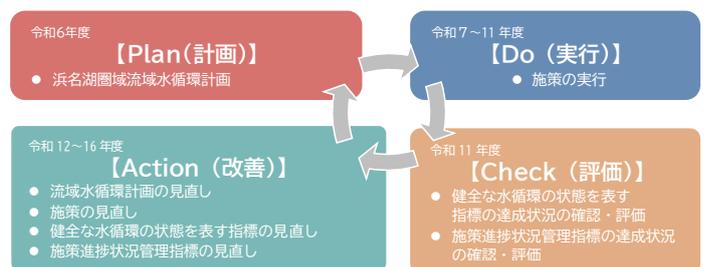
国、県、市の各関係部局により構成する「浜名湖圏域流域水循環協議会」により、取組の連携や新たな課題の検討を進めるとともに、有識者の意見や関係団体等の活動状況等を踏まえて施策を推進していきます。



浜名湖圏域流域水循環計画のねらい

● 計画期間

計画期間を10年として、策定から5年後に中間評価を実施し、当該時点での水循環を取り巻く状況を踏まえ、PDCAサイクルによって指標や目標値を再検討します。



計画の推進

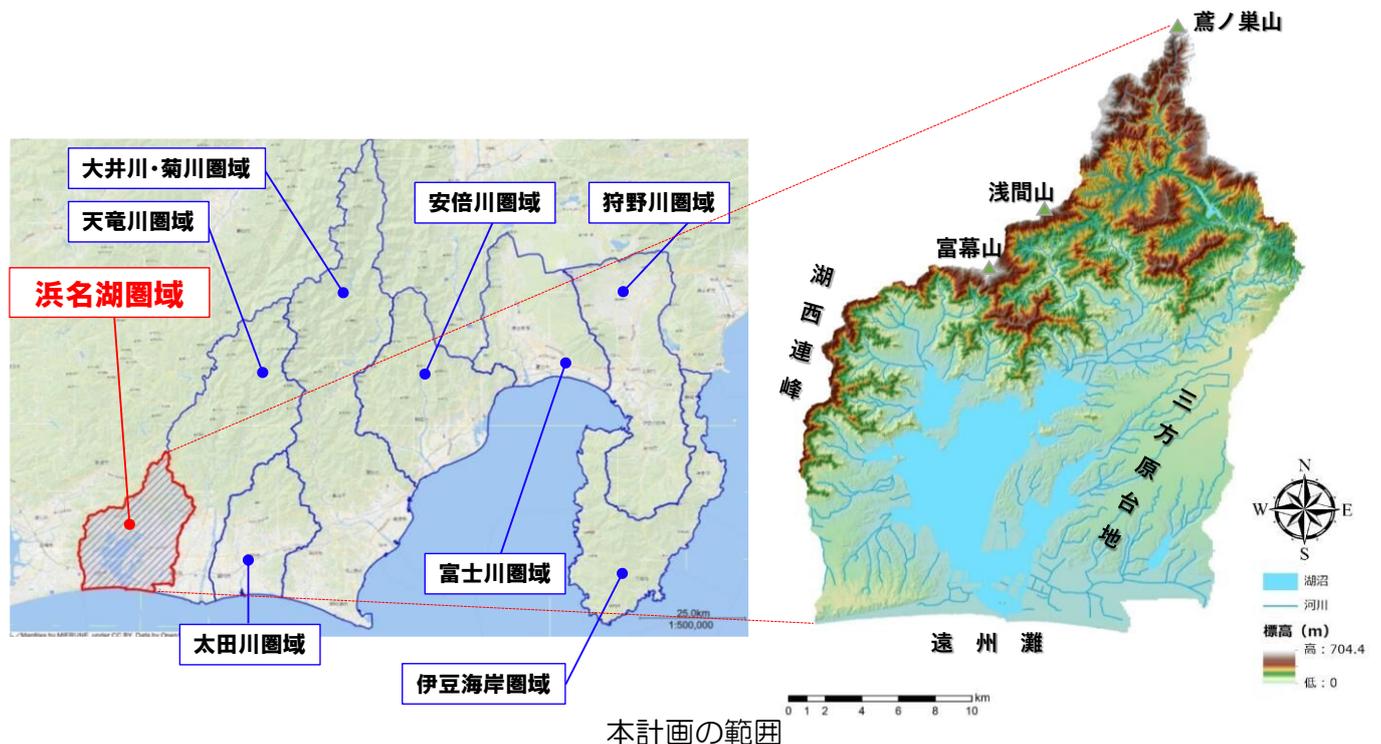
2. 浜名湖圏域の概要

● 浜名湖圏域の範囲と概要

一級河川や主要な二級河川の水系を中心とした複数の河川を包含する地域を基本単位とし、人の活動による水の利用状況も考慮して、県内に8つの圏域を設定しました。本計画で対象とする浜名湖圏域は、最も西側の圏域になります。

浜名湖圏域の概要

対象水系	都田川水系、梅田川水系
圏域面積	529km ² （都田川水系：524km ² 、梅田川水系：5km ² ）
関係市町	浜松市(中央区及び浜名区の一部)、湖西市
土地利用(R3 現在)	市街地：約 22%、農地：約 25%、林地：約 37%、水面：約 15%、その他：約 1%
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都田川水系は、二級河川水系としては県内最大の流域面積を有する。 ・ 都田川水系の最下流部に位置する浜名湖（面積約 70km²）は、太平洋側で最大の汽水湖であり、県立自然公園及び名勝地に指定されている。 ・ 梅田川は、静岡-愛知県境を南流した後、境川と合流し三河湾に注ぐ。
水利用	上水 遠州広域水道、浜松市上水道 農水 三方原用水、浜名湖北部用水、湖西用水 工水 西遠工業用水道、湖西工業用水道
地下水(湧水を含む)	年間単位利用量 60.0mm/年 （R2 地下水等利用量を圏域の陸域面積 454km ² で割り、年単位に換算した値） ※R2 地下水等利用量（地下水調査報告書（令和 4 年度版）より） 浜松市：65,419m ³ /日 湖西市：9,243m ³ /日



本計画の範囲

出典：国土交通省「国土数値情報（湖沼データ、河川データ）」、国土地理院基盤地図情報数値標高モデル 10m メッシュデータ、静岡県地理情報システム/Maptiles by MIERUNE, under CC BY. Data by OpenStreetMap contributors, under ODbLより作成

3. 浜名湖圏域の現状と課題

● 5つの分類からみた現状と課題

分類	現状	課題
水質	・ 公共用水域における環境基準を達成していない地点がある	・ 浜名湖の適切な水質の維持
	・ 地下水塩水化は改善傾向にあるものの、一部解消されていない地点がある	・ 地下水塩水化の状況監視を継続
	・ 農業用水や浄水場に流入する河川水に混入する泥等が増加している	・ 河川や用水路等の泥等の増加原因特定及び混入による被害を把握
水量	・ 浜名湖圏域の水道用水、農業用水、工業用水は、都田川水系だけでなく、天竜川水系や豊川水系からも供給されているが、天竜川水系、豊川水系における取水制限日数が多い	・ 取水制限時の適正な水利調整
		・ 浜名湖北部地域における代替水源確保
災害・治水	・ 気候変動に伴う豪雨の激甚化による水害等が発生している	・ あらゆる関係者が連携した水災害等の被害の最小化に向けた取組
	・ 台風の大規模化や南海トラフ地震など災害リスクが増大している	・ 防潮堤や湖岸施設の整備、改修
	・ 豪雨時に大量の流草木が発生している	・ 流草木の発生状況の把握及び発生時の連携
自然環境	・ 多様性のある豊かな森林	・ 森林の公益的機能の維持・増進を図る
	・ 多様な地質や地理条件に応じた豊かな森林や生態系が存在している	・ 浜名湖等における圏域特有の生態系の保全
暮らし	・ 多面的機能支払交付金活動の取組面積が大きく活動が広がっている	・ 農業・農村の多面的機能を発揮する取組への持続的な支援
	・ 浜名湖が県指定名勝に指定されている	・ 県指定名勝浜名湖の良好な景観の保全
	・ 水産資源の減少に伴い漁業経営に影響が生じている	・ 水産資源の回復



浜名湖圏域の課題

出典：国土地理院撮影（2021年）の空中写真を加工して作成

● 施策や取組による対応状況

課題に対して、現状の関連計画において対応がなされています。一方で、現状の対応が十分でない課題は、新たな対応や連携が必要になります。

5つの分野の課題は、圏域内でそれぞれ関連性があります。各課題の解決に向けた取組の実施に当たっては、他の課題との関連性を考慮するとともに、それぞれの取組の関係者と連携を図ることが重要です。

分類	課題	現状の取組		緊急性 評価	地域性 評価
		行政	民間		
水質	浜名湖の適切な水質維持	○	○	■	■
	地下水塩水化の状況監視	○	■	△	△
	河川や用水路等の泥等の状況把握及び増加原因究明	■	△	△	△
水量	取水制限時の適正な水利調整	○	■	△	○
	浜名湖北部地域における代替水源確保	△	■	○	△
災害・治水	流域治水の取組による水害等の被害の最小化	○	△	○	○
	県管理河川の整備率向上	○	■	■	○
	土砂災害危険箇所の整備率向上	○	■	■	○
	防潮堤や湖岸施設の整備、改修	○	○	△	○
	流草木の発生状況の把握及び発生時の連携	○	■	△	○
自然環境	森林の公益的機能の維持・増進	○	○	○	○
	浜名湖等地域特有の生態系の保全、回復	○	○	■	■
暮らし	農業・農村の有する多面的機能の発揮	○	○	■	○
	森林の多面的機能の持続的な発揮	○	○	○	○
	水産資源の回復	○	○	○	○
	県指定名勝浜名湖の保全	○	■	○	■

【凡例】

現状の取組 ○：対応策の記載がある △：課題は把握されているが対応策が明確でない ■：記載がない
 緊急性評価 ○：長期的に取り組むべき課題 △：中期的(概ね10年間)に取り組むべき課題
 ■：短期的に取り組むべき課題
 地域性評価 ○：全圏域に共通の課題 △：複数の圏域に共通の課題 ■：浜名湖圏域独自の課題

4. 浜名湖圏域の理念、目指すべき健全な水循環の姿

● 理念

静岡県水循環保全条例第 3 条「基本理念」を踏まえ、民間団体等や有識者の意見を参考にし、本計画の理念を定めました。

いのちと恵みをはぐくむ「浜名湖」と生きる
 ～特色ある自然環境の保全と多様な産業の未来のために～

● 目指すべき健全な水循環の姿

民間団体等へのアンケート結果や有識者の意見を参考として、3つの目指すべき健全な水循環の姿を定めました。

浜名湖を中心とした地域特有の自然環境の維持又は回復

分類	対応する課題
水質	浜名湖の適切な水質維持
	地下水塩水化の状況監視
	河川や用水路等の泥等の状況把握及び増加原因究明
水量	取水制限時の適正な水利調整
	浜名湖北部地域における代替水源確保
自然環境	森林の公益的機能の維持・増進
	浜名湖等地域特有の生態系の保全、回復

水災害（水害・土砂災害・濁水）に対するレジリエンスの向上

分類	対応する課題
水量	取水制限時の適正な水利調整
	浜名湖北部地域における代替水源確保
災害・治水	流域治水の取組による水害等の被害の最小化
	県管理河川の整備率向上
	土砂災害危険箇所の整備率向上
	防潮堤や湖岸施設の整備、改修
	流草木の発生状況の把握及び発生時の連携

多様な産業（農・林・水産・工・観光）と暮らしのバランスのとれた発展

分類	対応する課題
水質	浜名湖の適切な水質維持
	地下水塩水化の状況監視
	河川や用水路等の泥等の状況把握及び増加原因究明
水量	取水制限時の適正な水利調整
	浜名湖北部地域における代替水源確保
暮らし	農業・農村の有する多面的機能の発揮
	森林の多面的機能の持続的な発揮
	水産資源の回復
	県指定名勝浜名湖の保全

5. 健全な水循環の維持又は回復に関する目標

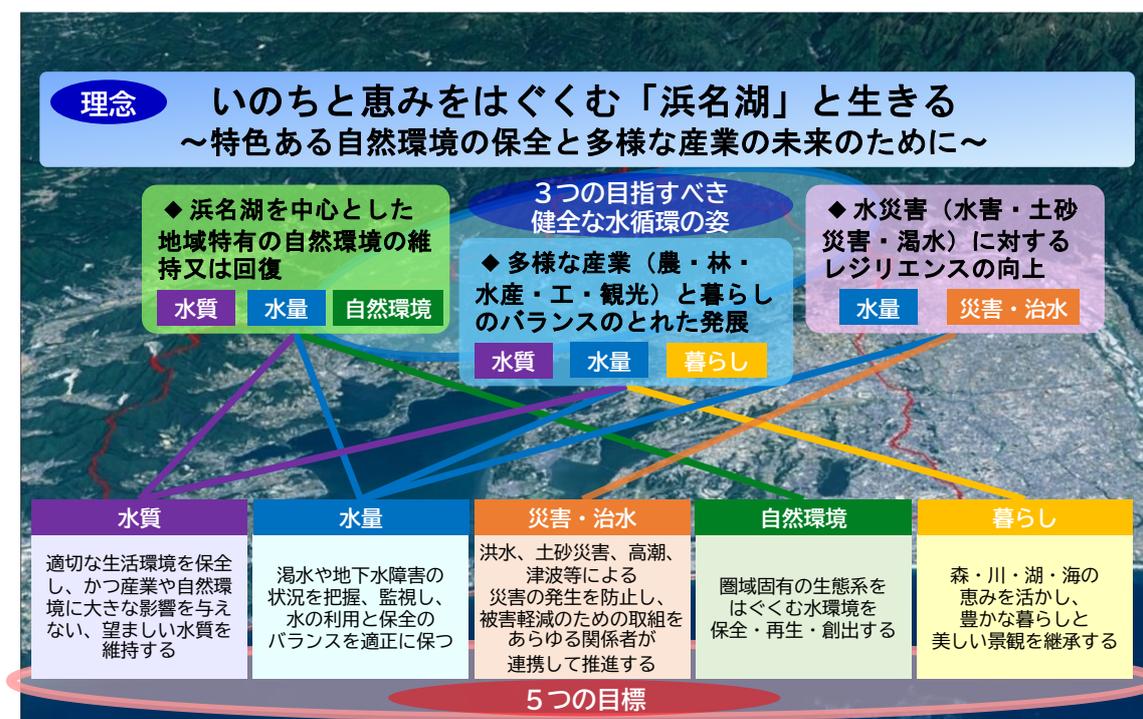
● 健全な水循環の維持又は回復のための目標

施策を効果的に推進し、理念や姿を達成するため、5つの分類ごとに目標を定めました。

分類	目標
水質	適切な生活環境を保全し、かつ産業や自然環境に大きな影響を与えない、望ましい水質を維持する
水量	渇水や地下水障害の状況を把握、監視し、水の利用と保全のバランスを適正に保つ
災害・治水	洪水、土砂災害、高潮、津波等による災害の発生を防止し、被害軽減のための取組をあらゆる関係者が連携して推進する
自然環境	圏域固有の生態系をはぐくむ水環境を保全・再生・創出する
暮らし	森・川・湖・海の恵みを持続的に活かし、豊かな暮らしと美しい景観を継承する

● 将来目指すべき健全な水循環の姿と目標の関係

浜名湖圏域では、5つの目標を達成することで、健全な水循環の姿を目指します。将来目指すべき健全な水循環の姿は、それぞれ複数の目標と関連があることから、施策の効果的な実施に当たっては、全体を見通して取り組むことが必要です。



将来目指すべき健全な水循環の姿と目標の関係

出典：国土地理院撮影（2021年）の空中写真を加工して作成

6. 目標を達成するために実施する施策

● 水質の目標に対する施策

施策	施策実施に関連する計画
河川、湖沼、海域における水質改善に関する施策や活動の継続 適切な汚水処理	浜名湖流域別下水道整備総合計画 等
地下水観測態勢の継続	第4次静岡県環境基本計画 等
河川や用水路等の泥等による被害状況把握	—

● 水量の目標に対する施策

施策	施策実施に関連する計画
水資源の確保に向けた利水関係者との適宜適切な調整	第4次静岡県環境基本計画 等
地下水取水基準の見直し	第4次静岡県環境基本計画 等

● 災害・治水の目標に対する施策

施策	施策実施に関連する計画
県管理河川の河川改修 治水協定に基づく都田川ダムの洪水調節機能の強化 (事前放流等)	都田川水系流域治水プロジェクト 美しいふじのくにインフラビジョン 都田川水系河川整備計画 等
土地改良施設の耐震化や更新整備、保全を推進	
森林整備・治山事業による浸透能力向上	
土砂災害防止施設の整備の推進	
湖岸施設及び海岸保全施設の整備の推進	遠州灘沿岸海岸保全基本計画 等
河川、海岸への流草木の流入を未然に防ぎ、 発生した場合は連携して対応する	—

● 自然環境の目標に対する施策

施策	施策実施に関連する計画
森林の整備・保全	静岡県森林共生基本計画 等
浜名湖における環境保全活動の促進 干潟・アマモ場等の保全	<改訂版>ふじのくに生物多様性地域戦略 等

● 暮らしの目標に対する施策

施策	施策実施に関連する計画
地域ぐるみの活動による農地の多面的機能の維持・発揮	静岡県農業農村整備みらいプラン 等
森林資源の循環利用の促進	静岡県森林共生基本計画 等
アサリ資源の保全と漁獲する漁業者の取組支援	静岡県水産振興基本計画 等
県指定名勝である浜名湖の適切な保存と活用に係る調整	浜松市文化財保存活用地域計画 等

各地域間でのつながりを認識し、浜名湖圏域全体に施策を展開します。

7. 健全な水循環の状態や計画の進捗状況を表す指標

● 指標の設定の考え方

計画の推進のため、2つの指標を設定して目標の達成状況、施策の進捗状況を管理します。

指標の種類		設定の考え方
健全な水循環の状態を表す指標	目指すべき健全な水循環の姿に到達するために設定した、「5つの目標」の達成状況を評価するための指標	<ul style="list-style-type: none"> 様々な取組を実施した結果、健全な水循環の維持までは回復が図られているかを表す指標 目標値は、関連計画と調整、整合させて設定 把握・評価には、指標のモニタリングが必要
施策の進捗状況を管理する指標	目標を達成するために必要な「施策」の実施状況を把握、管理するための指標	<ul style="list-style-type: none"> 目標値は、関係者が実施する施策の実施量を設定 把握・評価には、指標のモニタリングが必要

● 目標及び施策の指標

分類	施策	指標	目標値	年度
水質	河川、湖沼、海域における水質改善に関する施策や活動の継続等	(水循環の状態を表す指標) ・浜名湖の水質環境基準達成	100% (8地点)	毎年度
		(進捗状況を管理する指標) ・浜名湖環境保全活動参加者数 ・地下水取水基準の見直し	20,000人/年 西遠地域で完了	毎年度 令和10年度
水量	水資源の確保に向けた利水関係者との適宜適切な調整等	(水循環の状態を表す指標) ・地下水適正揚水量の確保	実績採取量 ○西遠 143千m ³ /日以下 ○浜名湖西岸 17千m ³ /日以下	毎年度 毎年度
		(進捗状況を管理する指標) ・地下水取水基準の見直し	西遠地域で完了	令和10年度
災害・治水	河川の改修、森林整備等による浸透の能力向上等	(水循環の状態を表す指標) ・水害及び土砂災害による死者数	0人	毎年度
		(進捗状況を管理する指標) ・県管理河川の整備延長 ・基幹農業水利施設の更新整備数 ・土砂災害防止設備箇所	4.3km (都田川水系) 82施設 (県全体) 1,979箇所 (県全体)	令和10年度 令和7年度 令和7年度
自然環境	森林整備・保全、浜名湖における環境保全活動の促進等	(水循環の状態を表す指標) ・保護地域及び自然共生サイトの面積	53,700ha (浜松市)	令和15年度
		(進捗状況を管理する指標) ・浜名湖環境保全活動参加者数 ・森林の多面的機能を持続的に発揮させる森林整備面積	20,000人/年 11,490ha (県全体)	毎年度 毎年度
暮らし	農地の多面的機能の維持・発揮、アサリ資源の保全と取組支援等	(水循環の状態を表す指標) ・基幹農業水利施設の更新整備数 ・森林の多面的機能を持続的に発揮させる森林整備面積	82施設 (県全体) 11,490ha (県全体)	令和7年度 毎年度
		(進捗状況を管理する指標) ・多面的機能支払交付金の活動面積 ・森林経営計画認定面積	維持または向上 100,000ha (県全体)	令和10年度 令和7年度

8. 流域水循環計画の推進

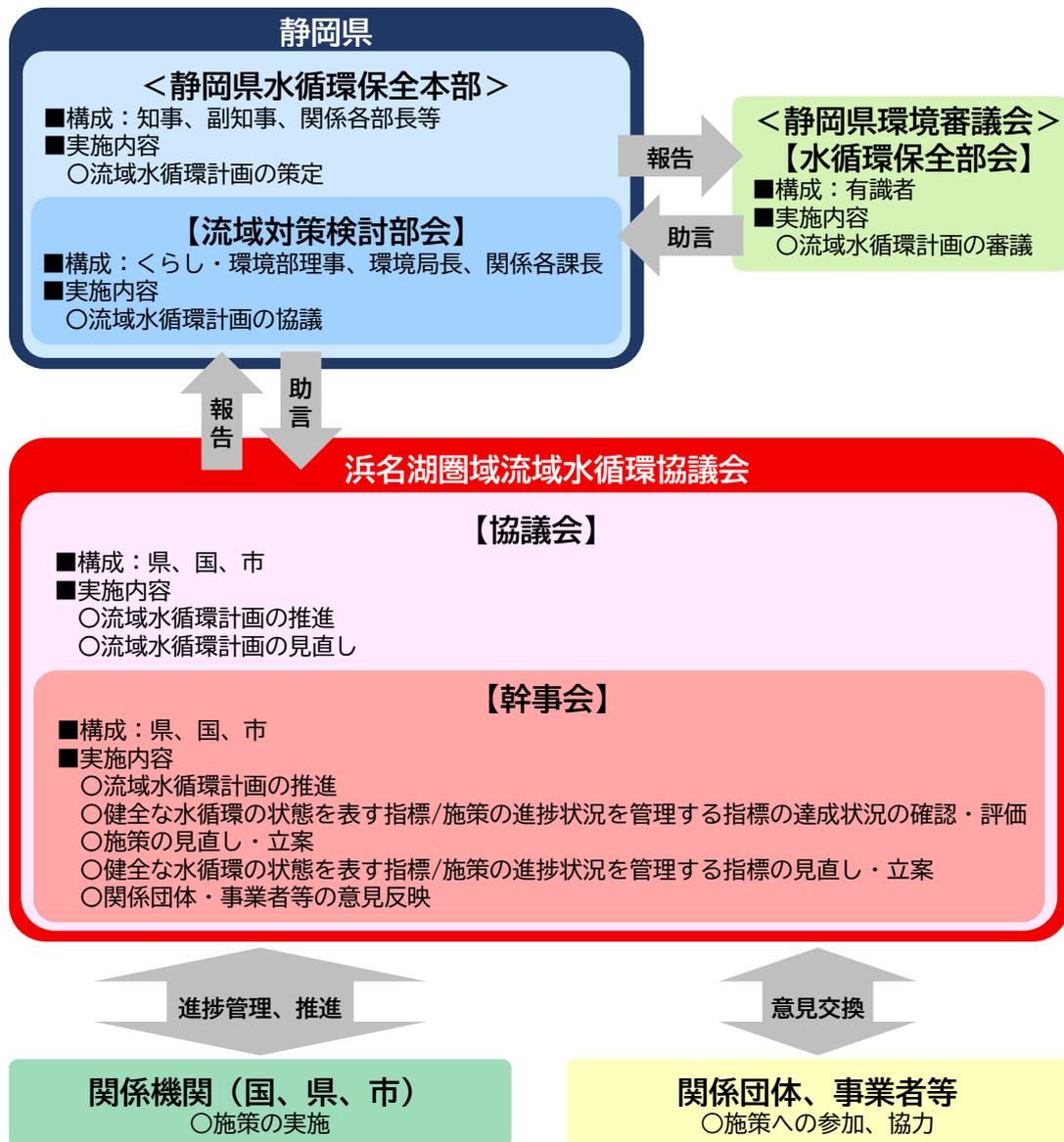
● 施策の実施主体の役割分担

健全な水循環の保全を推進するためには、国、県、市の行政機関、企業・団体等及び住民の各主体が、それぞれの立場に応じた役割分担に基づき、自主的・積極的に施策に取り組む必要があります。

● 計画の推進と進捗管理

「浜名湖圏域流域水循環協議会」が中心となり、健全な表す指標や施策の進捗状況を管理する指標を用いて計画の進捗管理を行いながら、関係機関と連携して取組の推進を図ります。

指標により進捗管理を行わない施策についても、実施状況やそれに伴う改善状況を把握し、また必要な調査を行うなどして、本協議会において進捗状況を確認し、推進を図ります。



計画の推進と進捗管理体制